



令和3年12月22日（水）発行

学校だより No.13

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》

- 向学 ……自ら学ぶ生徒
- 礼節 ……思いやりのある生徒
- 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

充実した2学期が明日で終了！

夏・秋・冬と3つの季節を駆け抜けてきた長い2学期が明日で終了となります。2学期は、新型コロナの対策を講じながら学校行事や諸活動を少しずつ再開することができました。運動会や西中祭では、実行委員会を組織して生徒が主体となって運営し、各学級が優勝目指して一致団結し絆を深めることができました。各学年の旅行も日程や方面が変更されましたが、全員で協力したくさんの思い出をつくることができました。また、臨時の生徒総会を開き、生徒主体でタブレットの使用ルールを話し合いました。どの行事や活動でも生徒自ら協力し全力で取り組み、主体性と支え愛を大きく伸ばすことができました。長い2学期が生徒の力を大きく伸ばす有意義な学期となりました。24日より冬休みとなります。1日1日を計画的に過ごし、3年生は受験に向けて全力で取り組んでください。1・2年生も、これまでの学習の復習に取り組み、生活面では年末年始の家の手伝い等に積極的に取り組んでください。そして、全員が新型コロナやインフルエンザ予防、交通安全等に気を付けて、健康で充実した冬休みを過ごしてください。

保護者の皆様へ

2学期も、学校の教育活動及び新型コロナ対策等に多大なるご理解とご協力をいただきました。誠にありがとうございます。様々な活動や日々の生活を通して多くの成果を挙げることができました。これもひとえに保護者の皆様のご協力があったからこそ、心より感謝申し上げます。今後も新型コロナ対策を継続・徹底しながら、これまでの成果を基に更に生徒が充実した学校生活を送れるよう職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続き3学期もよろしくお願いいたします。

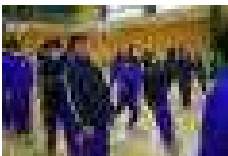
メディアとコミュニケーションについて＜学校保健委員会より＞



12月1日（水）に学校保健委員会が行われました。まず保健委員会の1・2年生が「メディアと上手につきあおう」というテーマでメディアセーブウィークの活動報告をしました。メディアをセーブしたことで勉強に集中できたり家族との会話が増えたりするなどそのメリットが報告されました。次に、3年生から「互いに心地よく感じられるコミュニケーション」をテーマにアンケート結果から、一緒にいる時間が長いとコミュニケーションが上手にとれるようになることや挨拶の重要性について報告されました。また、ロールプレイでコミュニケーションによる感じ方の違いを体験しました。

この二つのテーマは、非常に重要な課題です。メディアを上手にコントロールして生活の充実と自分自身のよりよい成長に繋げていくことが大切です。また、この二つのテーマは、本年度の重点である「主体性と支え愛の創造」に深く関連するテーマです。メディアを上手にコントロールすることは主体性に繋がり、相手を思いやり元気づけるコミュニケーションは支え愛に繋がります。今回の学校保健委員会の発表が、今後の学校生活の充実とよりよい成長、そして主体性と支え愛の創造に繋がることを期待しています。

人権について深く考えた＜校内人権週間＞

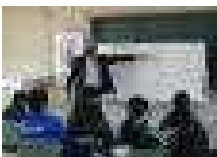


12月6日（月）の学校集会での支え愛を体験した人権に関する校長講話を皮切りに12月10日（金）までの5日間、校内人権週間が実施されました。主な内容としては、人権に関するビデオ学習として「インターネットと人権～加害者、被害者にもならないために～（ドラマ：インターネットの危険性）」を視聴し、

インターネットが原因で人権に関する多くのトラブルが発生してしまう可能性があることを学習しました。また、人権標語を作成したり、人権チェックリストを活用して自身の人権感覚を高めたりすることができました。

人権は、人権週間の期間だけで考えればいい、という訳ではありません。人権は生活していく上でとても大切な問題ですから、人権週間で学習したことをきっかけに人権についての理解を深め、ふだんの生活の中で自分の人権と周りの人の人権もしっかり守っていきましょう。

主体者たれ！（1年職業講話より）



12月15日（水）の5校時、株式会社西田の西田俊太郎さんを講師にお招きし、1年生の職業講話が開かれました。最初に、西田さんより「主体者たれ」という話がありました。それは、**人から言われたことをその通りにするだけではなく、自分で考えて判断し物事を決めていける人になることが大切であり、これから社会に出て働くときにとっても大切なことだ**ということをご自身の経験を通して教えてくださいました。

そして、**人が成長するとは主体的になれる対象が増えていくことだ**、と教えていただきました。小さい子どもの頃は、大人の言うことを聞いて生活していたのが、徐々に自分で考え主体的に物事に取り組んでいけるようになる、それが成長するということだと教えていただきました。主体的になれる対象を増やし、益々成長していきましょう。

主体性と支え愛を実現する生徒会に！＜新生徒会本部役員決定＞

12月13日（月）の生徒会役員選挙を経て、新しい生徒会本部役員が決定しました。新しい本部役員には、**本年度の重点テーマである主体性と支え愛の具現化を目指し、これまでの生徒会活動を継続し、更に改善を加え一歩でも発展させてほしい**と思います。

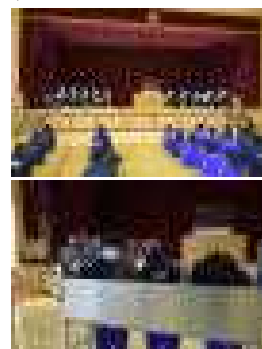
また、**学校を良くしようと選挙に全力で取り組んだ経験は、中学校生活を充実させ必ず自分自身のよりよい成長に繋がっていきます。**

○新役員の皆さん、伝統を引き継ぎ更に改善を加え、新たな生徒会創造のためによりしくお願いします。

会 長 平井音乃楓 さん
本部役員 深津 大椰 さん、小林 吟 さん、
(本部役員の役職は、小野里凜子 さん、千喜良瑛太 さん、
後日決定されます。) 鈴木 滉太 さん

○旧役員の皆さん、1年間ありがとうございました。皆さんのお陰で主体的な生徒会活動が益々充実しました。

会 長 青柳はるか さん 副会長 茂木 大地 さん
書 記 生方琥太郎 さん、長岡 草大 さん
会 計 森田 莉月 さん、林 燈二 さん



《コラム～校長室より・校長の独り言～》

最近、生徒の優しい行動をいくつも目にしました。給食の準備をするとき、給食係が授業道具を持っていると「道具、持って行ってあげるよ」と声を掛けたり、重い荷物を持っている人がいると、「荷物を持つの手伝うよ」と荷物を持ってあげたり、心温まる場面をいくつも見ました。他にもたくさんありますが、どの場面でも自分から声をかけているのが、とても素晴らしいなと感じました。

西中には、主体的で温かい生徒がたくさん居ます。

